

がやってきます。



～「自分たちの地域は、自分たちで守る」という
心構えをふだんから持ち、万一の備えをしておきましょう～

熱帯低気圧・台風・
温帯低気圧とは

熱帯低気圧とは、熱帯又は亜熱帯地方に発生する低気圧の総称をいいます。

台風とは、北西太平洋又は南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速（10分間風速）がおよそ毎秒17m（風力8）以上のものをいいます。

台風は中心が近づくと急激に激しい風雨となりますので、注意しましょう。

なお、気象情報などで「熱帯低気圧」を用いる場合は、「台風」と区分けて、台風勢力よりも弱いものを指します。

温帯低気圧とは、中緯度や高緯度に発生する低気圧をいいます。この低気圧は前線を伴うことが多く、通常は単に「低気圧」と呼びますが、台風や熱帯低気圧と区別する場合には「温帯低気圧」と呼びます。

天気予報などで、「台風が温帯低気圧に変わりました」という場合には、台風が弱まったのではなく、前線を伴う温帯低気圧に性質が変わったことを指します。台風から変わった温帯低気圧は、発達して暴風の範囲が広がる場合や大雨が続くこともありますので、注意が必要です。

集中豪雨の頻発

集中豪雨とは

集中豪雨とは、短時間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨をいい、こうした雨が何時間も

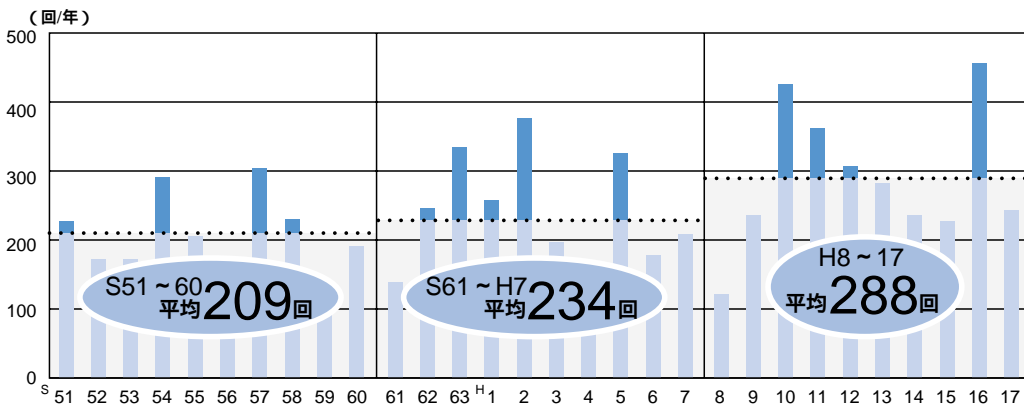
降り続けると大きな災害が起こることがあります。

梅雨末期に日本付近に前線が停滞しているときや、台風が日本に近づいたり上陸したときは、集中豪雨が起りやすくなります。

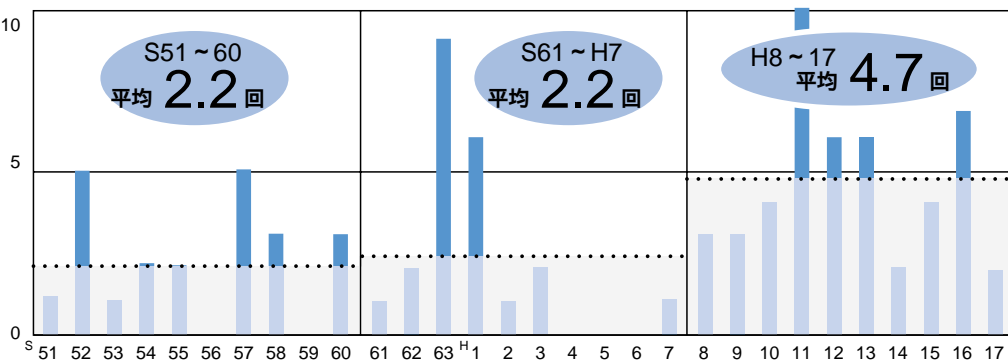
す。また、集中豪雨の予測は現在のところ困難な場合が多いので、最新の大雨情報や雨の降り方に注意しましょう。

1. 1時間降水量 50mm以上の降水の発生回数

1時間降水量の年間延べ件数
(全国のアメダス地点 約1,300箇所より)



2. 1時間降水量 100mm以上の降水の発生回数



資料:気象庁資料より作成

このページは、NPO法人 環境防災総合政策研究機構(<http://www.npo-cemi.com>) 発行 わかりやすい風水害情報ガイドブックを基に作成しています。

台風や集中豪雨の季節

風水害に対する備えはできていますか？

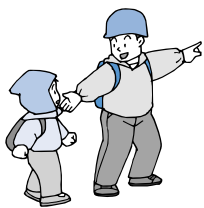
「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神を心がけましょう。

大雨による浸水等の被害が発生した場合、消防等の防災機関は、全力をあげて防災活動を行います。被害の状況により活動が制限され、災害対応能力が大きく低下することが考えられます。

このような事態において、その被害の防止又は軽減を図るためには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助・協働」の精神により、地域の住民同士がお互いに助け合うことが重要となります。

このためには、ふだんから、隣近所とのコミュニケーションを図り、自治会が開催するイベントに参加するなど、自分たちの住む地域の状況や避難場所・方法などを

知っておくことがたいせつなポイントになります。



普段から風水害に備えましょう。

風水害による死傷の原因には、見回りに強風にあおられたり、屋根の修理中に足を滑らせ落下

するなどのことが挙げられます。こうしたことから、台風による大雨や集中豪雨が発生したときは、次のことに注意してください。

外出を控えましょう。

屋外での無理な労働は控えましょう。

家族が外出しようとしている場合は、思いとどまるよう引き留めましょう。

テレビ、ラジオなどからの気象情報を把握しましょう。

風水害から

身を守るためには

家屋にも浸水や強風への備えが必要です。風や雨が強くなってきたから屋外を補強するのはたいへん危険です。日常的に点検しましょう。主な点検場所は次のとおりです。

屋根

窓ガラス

ベランダ

雨どい

屋外の設置物 などです。

また、自宅からの避難やライフラインの途絶に備え、当面の生活に必要なものを準備し、避難時に両手が見えるようにリュックなどに入れておくようにしましょう。

最低限そろえておきたいもの

は次のとおりです。

飲料水

懐中電灯

救急薬品

非常食

携帯ラジオ

ヘルメット

現金

オイルライター

身分証明書のコピー

軍手

衣類 などです。



避難場所と経路を

確認しましょう。

いざというときに速やかに行動するために、最寄りの避難場所を確認しましょう。河川敷など危険な場所を通らずに避難場所へ避難する安全なルートを確認することはたいせつです。

なお、避難場所は、4月に各世帯に配付しました「洪水ハザードマップ」に掲載されており、その他洪水に関する情報や災害用の伝言ダイヤルの使用方法などたくさん情報を掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

いざというときの家族や友人等への連絡方法を確認しましょう。

町では、災害時、家族の安否や連絡等を掲載・閲覧する「彩の国災害用伝言板ネットワーク」を白岡町公式ホームページに掲載しております。

また、大きな災害が発生したときに自身の安否情報を登録することができる「災害用伝言板サービス(携帯電話からアクセスできます。)」や被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に開始される「N-TT災害用伝言ダイヤル(電話番号171 加入電話、公衆電話、携帯電話からご利用できます。)」、「N-TT災害用プロードバンド伝言板(インターネットからアクセスできます。)」などのシステムがありますので、ぜひ、ご覧ください。



問合せ
町民活動推進課 防災担当
内線354・355